



環境にやさしい植物油墨
再生紙を使用しています

運さえよければ…
「おお～ タカだあ～！」

陶史の森の展望台にいます、送電線鉄塔のてっぺんで獲物探しをしている「オオタカ」を見掛けることがまれにあります。白い眉斑(眉毛のように見える模様)が目立つオオタカ。時には、特徴的な白いおなかを見せながら、青空高く、悠々と風に乗って飛んでいることもあります。

体長は50～60cm程度で、翼を広げると1～1.3mほどにもなる猛禽類(他の動物を捕食する鳥類)です。ハトやヒヨドリなどは空中で、ネズミやウサギなどは急降下して捕獲します。その速さは時速130kmにも達するほどで、飛翔能力が非常に高い優れたハンターです。そのため、古くから「鷹狩り」に使われていました。

かつては、生息地周辺の大規模開発により絶滅の恐れがあったため、「希少野生動物」に指定されていました。しかし、その後の保護活動により全国的に個体数が増加したことから、平成18年には「準絶滅危惧」となり環境省のレッドデータブックから外されました。これからもみんなで、オオタカも人間も住みよい豊かな自然環境を守っていきましょう。

ところで、オオタカという名前の由来は、“大きい鷹”ということではないようです。羽の色が青みがかった灰色をしており、かつて「蒼鷹」と呼ばれていたからだそうです。



 森の日記

1月に「ミツバツツジ」が咲いています！

下の表は、陶史の森の11月と12月の平均気温です。

	平成26年	平成27年
11月	8.3℃	12.6℃
12月	1.5℃	6.5℃

平成26年と比べると、平成27年の月平均気温は、4～5℃ほど高く、11月の月平均気温は、例年の3～4月並みの気温です。その影響を受け、昨年11月頃から「ミツバツツジ」が咲き始めました(下の写真、今年の1月4日に撮影)。

お昼のニュースで、「今日は、3月下旬から4月上旬ごろの陽気です」と言っていました。うーん、こんなに暖かくていいのでしょうか？



 教室のご案内

- 2月**
バードウォッチング (自由参加、雨天中止)
2月21日(日) 午前9時～11時30分
真冬の野鳥を観察します。
- 3月**
シイタケ教室 (要申込・定員30人)
3月6日(日) 午前9時～11時30分
原木にシイタケの菌を打ち、育て方を学びます。※原木は1家族1本
- 自然教室 (自由参加)
3月13日(日) 午前9時～11時30分
春を待つ木の芽や草の芽を調べます。
- バードウォッチング (自由参加、雨天中止)
3月27日(日) 午前9時～11時30分
春の野鳥を観察します。

ネイチャーセンターでは、ご希望の方に双眼鏡や野鳥図鑑を貸し出しています。気軽に声を掛けてください。